

カリリオン社のコスト削減・効率性改善・生産性向上の布石に貢献

カリリオン社 様



ゼロックスのサポートにより、アマゾン・プロジェクトは大成功でした。最初の6ヶ月で約60万ポンド〔円換算8,400万円/140円/ポンド〕の削減を達成。さらに、将来への詳細な計画が描けました。

カリリオンPLC社
取締役情報システム部長
スティーブ・コーナー氏

背景

カリリオン社様（以下敬称略）は、イギリスのサポートサービスおよび建設業界の大手企業のひとつです。同社は、コンセプト設計をはじめ、設備管理やサポートサービスに高品質、コスト効率に優れ、持続可能なソリューションを提供しています。

同社の年間売上は50億ポンドで、その対象範囲は医療、教育や生涯教育、道路、鉄道、防衛、商業用不動産など多岐にわたり、数々の賞を受賞しています。そしてその事業を支えるのが、イギリスをはじめヨーロッパ、カナダ、中東、カリブ諸国に拠点を置く5万人以上の従業員です。

課題

ゼロックス（英国）とカリリオン社の関係は、大企業の大半が抱えているような問題として、無数の分散プリンターやコピー機が氾濫し、メーカーや機種が多種になっていることにカリリオン社が問題意識を持ったことに遡ります。

さらに同社では、過去何年間も行なわれていた現場まかせのオフィス機器の購買そのものが、しばしば稼働率のばらつきや高額な運用経費、サポートしづらさの原因になっていました。

そこでカリリオン社はゼロックス（英国）の協力のもと、全社規模でのドキュメント出力ポリシーを掲げ、コスト削減と効率性向上を目標とした“アマゾン・プロジェクト”を立ち上げたのです。

※アマゾン・プロジェクト：「未開の領域」という意味で、出力環境のムダの排除を目的に命名されたプロジェクト

アマゾン・プロジェクトでは、ゼロックス（英国）によってコピー機とプリンターの全ての出力機器を約60%削減し、3,000台あった分散出力機は、わずか800台のプリンターと450台の複合機にまで集約を図りました。

それに加え、出力機全台数をモニターするために、オンラインの資産追跡システム（XDM：ゼロックスデバイスマネージャー）を設置しました。カリリオン社はこの情報を自社のオンラインデータベースの一部として利用しています。

現在までプロジェクトは順調に進んでいます。すべての出力機器と導入運用ポリシーは定着し、コスト削減や業務効率化も実現し、コストや利用状況に関する正確な情報も入手可能です。

そして、カリリオンは企業買収に乗り出しました。

ソリューション

カリリオン社がPME社を買収した際に、取締役情報システム部長のスティーブ・コーナー氏はプロジェクト以前のカリリオン社を思い起こし、以下のように語りました。

「PME社は非常に大きな会社です。イギリス各地に30カ所あるオフィスには総勢2,500人もの従業員がいます。ドキュメント出力に関しては、アマゾン・プロジェクト立ち上げ以前のカリリオンのような状態でした。たくさん分散出力機が氾濫し、ネットワーク接続された複合機は単なるコピー機として使われ、プリンター機能は使われていませんでした。これはムダそのものでした」

サマリー

<<課題>>

- 全社規模でのドキュメント出力におけるコスト削減と効率性向上
- PME社とモーレム社を買収したことで、カリリオン社は再び同じ課題に直面し、分散出力機器の利用状況の適正化、運用、サポートの標準化を目指し、各種メーカー、機種が氾濫する状況のもと、最適配置に再び取り組まなければならなかった

<<ソリューション>>

- 現有機の活用、廃棄、移動、代替を決定するための既存出力機器の洗い出しと分析
- 出力環境の構築やトレーニング、社内のコミュニケーションなどを含むサービス展開
- オンライン資産追跡システムによる効率的な再配置や最新の出力資産管理
- 出力機器のレポートや分散出力機器の最適配置を含む継続的な分散出力機器の管理

<<成果>>

- カリリオン社の分散出力機器を約60%削減した結果、3,000台以上あったプリンターとコピー機が小型プリンター800台と複合機450台にまで集約。最初の6ヶ月で達成したコスト削減額は60万ポンド【円換算8,400万円/140円/ポンド】
- 実施したプロジェクトが将来に向けたコスト削減の布石となり、PME社やモーレム社への展開に際し、管理負荷軽減や全体費用抑制、さらには統制強化や効率性強化につながった

契約締結後、コーナー氏とチームメンバーはすぐに行動に移り、改めてワークフローの洗い出し、在庫分析、分散出力機器の最適化を実施しました。

1年後、PME社吸収合併に成功したカリリオン社は、建設業界のライバルであるモーレム社買収に合意をしました。

これについてコーナー氏は、「モーレム社買収は超大型買収案件でした。

同社は英国全土400拠点のオフィスに5,000～6,000人のITユーザーを抱えていました。プリンターやコピーが混在し、様々な機種の出力機器を使用し、消耗品の現地在庫もたくさんありました。しかも、これは社内で最大のITプロジェクトであったにも関わらず、今回予想されたリスクは極めて低かったのです。導入運用ポリシーはすでに立証され、手順も理解しており、ゼロックスとのアウトソーシングの関係をもとに、最初からこのプロジェクトの恩恵は明確にイメージできていました」と言いました。

成果

PME社やモーレム社の買収は、新たに1,500台以上のプリンターやコピー機、そして複合機など出力機器を最適配置または廃棄する必要があり、最適化で必要となる出力機器にはサポートやメンテナンスが必要になることを意味していました。

「私たちはゼロックスにすべてを任せています。不具合を見つけたユーザーは社内のヘルプデスクに連絡し、そこからゼロックスに問題を報告することができ、直接ゼロックスに電話をすることもできます。簡単なことです」とコーナー氏は言います。

さらにゼロックス（英国）は最適配置を継続的かつ維持コントロールするため、出力機器の再配置や移動も実施します。英国全土の各拠点で“一時的な設置”が40%を占める当社では、プリンターや複合機の再配置の作業は大変な作業です。

「ゼロックスのお陰ですべてが効率的に機能しています。単にメンテナンスや分散出力機器の管理だけでなく、各出力機器をトラッキングし、出力枚数をモニターすることで、利用状況が適正か否かを特定し、さらに信頼性やパフォーマンスをも測定してくれます。価値のあるサービスです」とコーナー氏。

今後の展望

「数年前にゼロックスとともに構築したサービスモデルは、今でも十分に機能しています。時が経って、そのサービス内容が証明されたということです。ゼロックスの実力も同様に実証されました。カリリオンは将来的に、さらなる企業買収も視野に入れていますが、どこが対象になるのか現時点ではわかりません。しかし、これだけは確信を持って言うことができます。今後何が起ころうと、ゼロックスが私たちの助けになってくれるということを」とコーナー氏は締めくくりました。

Fuji Xerox Global Services について

これまでの実績に基づく豊富な経験とノウハウを有する当社のプロフェッショナルが、グローバルに活躍するお客様と密接に連携。お客様のビジネスを成功に導くため、ドキュメントプロセスを継続的に改善・最適化していきます。その結果として、業務プロセスの変革を通じた生産性の向上をはじめ、出力コスト削減、環境への貢献、セキュリティの向上など、企業の経営力を高める様々な効果が期待できます。

富士ゼロックス株式会社

Fuji Xerox Global Services についての情報・お問合せはインターネットでご確認ください。

<http://www.fujixerox.co.jp/solution/gs/>

